

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|-----------|--------------|
| ○事業所名 | Linoぶれいす箕面東 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 9月 1日 | ~ | 2025年 9月 30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 51 (回答者数) | 34 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年10月1日 | ~ | 2025年10月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11 (回答者数) | 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 12月 1日 | | |

○ 分析結果

| 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|--|---|--|---|
| 1 | スタッフが子ども一人ひとりに丁寧に寄り添い、安心できる雰囲気づくりを大切にしている。 | 活動プログラムが固定化しないよう、正規職員を中心内容を工夫して作成している。 | 保護者同士が意見交換できる場（交流会・情報共有会等）の開催を増やす。 |
| 2 | 放課後等デイサービス計画の作成・共有が適切に行われ、計画に沿った学習面や遊びの面で、個々のベースや得意分野を活かした支援が実施されている。 | 職員間で打ち合わせや振り返りを行い、チームで連携して、子どもの状況や発達段階に応じた柔軟な支援を行っている。 | 非常勤職員やアルバイトも活動プログラム作成・振り返りに参画できる仕組みを検討する。 |
| 3 | 保護者との連携やコミュニケーションを大切にし、面談や相談、情報発信を通じて家庭と共に理解を持っている。 | 生活空間や支援環境を構造化し、清潔で過ごしやすい環境づくりを意識している。 | 医療機関との連携をさらに強化し、健康面や医療指示に基づく支援を充実させる。 |

| 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|--|------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 専門的な知識を持つ職員が不足している。 | 安全管理や専門的対応に関する知識・経験不足の影響。 | 専門知識を持つ正規職員の増員や研修機会の強化。 |
| 2 | 就学前の事業所との情報連携や、地域・医療機関との連携が十分ではない。 | 活動プログラムや支援内容の改善・振り返りの仕組みが部分的である。 | 支援記録の活用やPDCAサイクルの定着を図り、支援改善につなげる。 |
| 3 | 活動記録を支援改善に活用できておらず、振り返りの精度が課題。 | 保護者や地域との交流の場、意見反映の機会が限られたこと。 | 保護者交流会・地域交流等を実施し、支援の質向上と透明性を確保する。 |